

平成29年度第10回
公立大学法人公立ほこだて未来大学教育研究審議会議事録

1 日 時 平成30年1月19日（金）15：00～15：25

2 場 所 公立ほこだて未来大学4階特別応接室

3 出席者

委員：片桐学長（議長）、川嶋副学長（理事）、松原（仁）副理事長、政田事務局長（理事）、岡本研究科長、美馬（義）学科長、鈴木（恵）学科長、田柳社会連携センター長、平田メタ学習センター長、高橋情報システムデザインセンター長

事務局：大場高度ICTコース長、鈴木（昭）知能システムコース長、中田学生委員長、杉村企画総務課長、相馬財務・研究支援課長、亀田教務課長

4 議 事

(1) 審議事項

① 公立ほこだて未来大学大学院学則等の一部改正について

- ・ 亀田教務課長から、資料1に基づき説明があり、原案のとおりに了承された。

(2) 報告事項

① 新経済連盟申し出について

- ・ 田柳社会連携センター長から、資料2に基づき報告があり、何か意見等があれば連絡してほしい旨の話があった。これに関連して、大場高度ICTコース長から、enPiTに対しても同じような内容の話があるため、詳細を聞くとの話があった。

(3) その他

① 地域交流フォーラムについて

- ・ 田柳社会連携センター長から、3月30日（金）にAIと経済をテーマに地域交流フォーラムが開催される旨の案内があった。

② 今後の課題等について

- ・ 片桐学長から、開学20周年を迎える2020年を目安に学内のシステムについて見直していきたいとの話があり、内容として以下の話があった。
 - ・ 大学院に関しては、外国人学生が英語だけで学位を取得出来ることを目指したい。
 - ・ 未来AI研究センターに続き、デザイン関係についても組織化したい。
 - ・ 認証評価では、教育の質保証についてを評価するようになってきており、それに合わせて学内のPDCAサイクルをシステム化する必要がある。本学においてはPとDは出来ているがCとAは十分ではないため、各委員会でPDCAサイクルに取り組む体制を作ることとしたい。
 - ・ 教員採用について、これまでの欠員だけを採用する方法ではなく、今後の定年退職予定から、前倒し採用を考えている。